I-O DATA

ET-ST8

10BASE-T 8ポート・スタッカブル・ハブ

取扱説明書

株式会社 アイ・オー・データ機器

9363-01

【ご注意】

1)本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。

2)本製品及び本書の内容については、改良のために予告なく変更することがあります。

3)本製品及び本書の内容について、不審な点やお気づきの点がございましたら、株式会社アイ・オー・データ機器サポートセンターまでご連絡ください。

4)本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。

5)本製品は「外国為替及び外国貿易管理法」の規定により戦略物資等輸出規制製品に該当します。
したがって、国外に持ち出す場合には、必ず日本国政府の輸出許可申請など必要な手続きをお取りください。

6)本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など人命に関る設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。

7)本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is only suitable for use in Japan.　We shall have no liability for any damages arising from the use or inability to use this product in other countries.　We neither provide any technical support and/or after-service for the use of this product abroad.)

- I-O DATA,PLANTは、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
- Ethernetは、米国 Xerox Corporationの登録商標です。
- その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

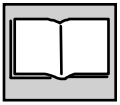
ET-ST8 取扱説明書
1998.Jan.14 9363-01
発 行　株式会社アイ・オー・データ機器
〒920-8512 石川県金沢市桜田町24街区1

© 1998 I-O DATA DEVICE,INC. All rights reserved.
本製品及び本書は著作権法により保護されておりますので
無断で複写、複製、転載、改変することは禁じられています。

ここにVerシールをお貼りください

Verシール

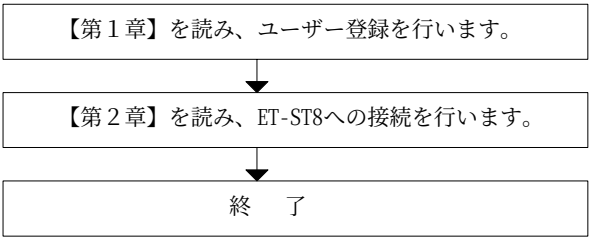
このたびは、10BASE-T 8ポート･スタッカブル･ハブ「ET-ST8」をお買い上げいただきまして、ありがとうございます。
ご使用の前に本書をよくお読みいただき、正しいお取り扱いをお願いします。



本書をご覧になるにあたって

・ 本書の見方

以下のフローに沿って、お読みください。



・ 呼び方

呼び方	意 味
「ネットワークOS」 または「NOS」	Network Operating System
UTP	非シールドツイストペア (【付録3 用語解説】(P17)参照)
STP	シールドツイストペア (【付録3 用語解説】(P17)参照)

はじめに i
目次 ii

第１章 ご使用になる前に ……1

1.1 特徴 1
1.2 箱を開けたら 3
1.3 取り扱い及び使用上の注意..... 5

第２章 ET-ST8への接続 ……7

2.1 各部の名称 7
2.2 ET-ST8への接続..... 9

付録１ 困った時には ……１５

付録２ ネットワークの仕様及び接続方法 ……１６

付録３ 用語解説 ……１７

付録４ ハードウェア仕様 ……２１

PLANTコールセンターへのお問い合わせ ２３
修理について ２４

第1章 ご使用になる前に

この章では、ET-ST8をご使用になる上で必要となる事項を説明しますので、最初に必ずお読みください。

1.1 特徴

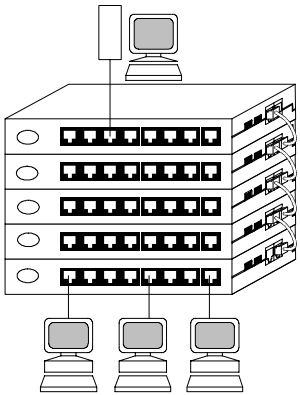
- **Ethernet IEEE 802.3リピーター仕様及び10BASE-T標準に準拠**

  10BASE-TのUTP※（またはSTP）を接続するための、8つのRJ-45ステーションポートを装備しています。(うち1ポートは、ハブのRJ-45デイジーチェーンポートとして利用可能です。)

  ※ 別売オプションとなります。(弊社製 LATPシリーズ)

- **スタック機能搭載**

  スタック機能搭載なので最大5台(40ポート)までスタックすることができ、ネットワークが成長していくにつれ増設、拡張することができます。安心の
  SOHO(Small Office Home Office)対応です。



- **小型・ 軽量**

  電源内蔵により、小型･省スペースを実現します。

- **モニタ機能搭載**

  ネットワークの使用状況、コリジョン、リンク、ポートの接続状態のモニタ機能を搭載しています。

  ハブの状態や設定に関する各種LED表示パネルによって、問題の診断を容易にします。

- **簡単インストール設計**

  わずらわしい初期設定いらずなので、即ネットワークを敷設することができます。

- **自動切断機能搭載**

  ネットワークシステムを守るため、不良ポートを切り離す自動切断機能を搭載しています。

- **自動極性認識、自動修正機能を搭載**

  配線エラーを自動的に調整する自動極性認識や自動修正機能を搭載しています。

1.2 箱を開けたら

・　内容のご確認

内容物	個数	備考
10BASE-T･8ポート･スタッカブル･ハブ	1個	ET-ST8
専用スタックケーブル	1本	
専用ACケーブル	1本	
専用ゴム足	4個	
取扱説明書	1冊	本書
ハードウェア保証書	1枚	
ハードウェアシリアルNo.シール	1枚	
ユーザー登録カード(本書巻末)	1枚	
『安全で快適にお使いいただくために』	1冊	

万が一、不足品がありましたら、弊社PLANTコールセンターまでお知らせください。

お願い：箱･梱包材は大切に保管し、修理などで輸送の際にご利用ください。

・　ユーザー登録について

オンラインによる登録と、ハガキによる登録の2通りがあります。
いずれかの方法で登録を行ってください。

《オンラインによる登録》（ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ http://www.iodata.co.jp/support/）

I-O DATA ホームページのサポートコーナーに「オンライン・ユーザー登録」ボタンが用意されています。このボタンをクリックするとオンライン登録の案内が表示されますので、画面の表示にしたがって必要事項を記入することにより、即座にユーザー登録が行えます。

オンライン・ユーザー登録を行えば、抽選で賞品が当たる等のお楽しみ企画をご用意しております。
オンライン・ユーザー登録後、お手元のユーザー登録カードには、ユーザー登録番号を記入して大切に保管してください。

《ハガキによる登録》

1)添付のハードウェアシリアルNo.シールを、ユーザー登録カード、ハードウェア保証書に貼ってください。
2)ユーザー登録カードに必要な事項をご記入のうえ、弊社まで必ずご返送ください。

注 意

1)弊社では、PLANTコールセンターでの質問受け付けなどを行っていますが、これらのサービスはユーザー登録を行った方のみが対象となります。お買い上げいただいた製品ごとに必ず登録してください。
2)ユーザー登録の際、必要事項のご記入もれ(ユーザー登録カードの場合は、必要なシールの貼り忘れなど)があった場合は、ユーザー登録できませんので、必ずご確認ください。

1.3 取り扱い及び使用上の注意

・ ACケーブルは、必ず付属の専用ACケーブルを使用してください。他のACケーブルを流用すると故障や火災などの原因になります。

・ 本製品は精密機器です。落としたり衝撃を加えないよう、丁寧に取り扱ってください。

・ 本製品を使用する際は、下記の様な場所に設置しないでください。
- ·振動や衝撃の加わる場所
- ·直射日光の当たる場所
- ·湿気やホコリが多い場所
- ·温度差の激しい場所
- ·熱を発生するものの近く（ストーブ、ヒータなど）
- ·強い磁力や電波が発生するものの近く（磁石、ディスプレイ、スピーカー、ラジオ、無線機など）

・ 使用する際の注意
- ·電源を切ったり接続の変更を行う場合は、予めネットワークの使用禁止を告知してネットワークにアクセスされない状態で行ってください。
- ·本製品を寒い所から暖かい場所へ移動したり、部屋の温度が急に上昇すると、本体内部が結露する場合があります。そのまま使用すると誤動作や故障の原因となる場合があります。しばらく時間をおいて、結露がなくなってから使用してください。
- ·本体内部に液体、金属などの異物が入らないようにしてください。また、本体についた汚れなどを落とす場合は、柔らかい布で乾拭きしてください。
  洗剤で汚れを落とす場合は、必ず中性洗剤を水で薄めてご使用ください。
  ベンジン、アルコール、シンナー系の溶剤を含んでいるものは使用しないでください。

・　本製品に対し、以下のことを行わないでください。火災・感電・動作不良の原因になります。

・分解や改造などをしないでください。

・専用ACケーブルのコードを無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。また、重いものを上に載せないでください。

・濡れた手などで本製品を取り扱わないでください。

・　保証について

保証期間

・保証期間は、お買い上げの日より1年間です。保証期間を過ぎたものや、保証書に販売店印とお買い上げ日の記述のないものは、有償修理となります。
また、修理を受ける場合には保証書が必要になりますので、大切に保管してください。

・当社が販売中止を決定してから、一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。
詳細は、ハードウェア保証書をご覧ください。

保証範囲

次のような場合は、保証の責任を負いかねます。予めご了承ください。

・本製品の使用によって生じた、データの消失及び破損。

・本製品の使用によって生じた、いかなる結果やその他の異常。

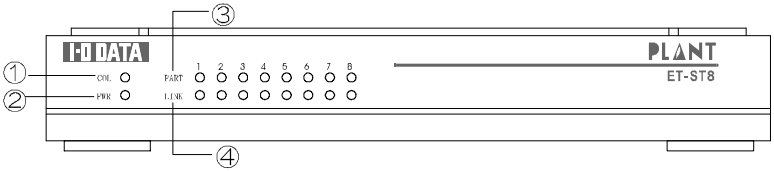
・弊社の責任によらない製品の破損、または改造による故障。

第2章 ET-ST8への接続

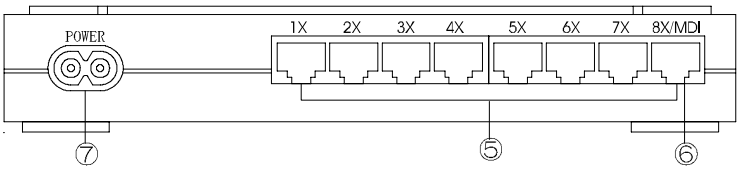
この章では、ET-ST8への接続方法を説明します。

2-1 各部の名称

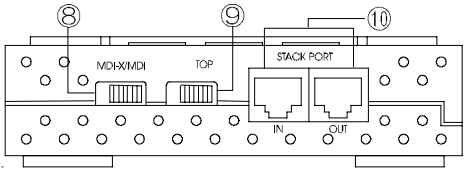
前面

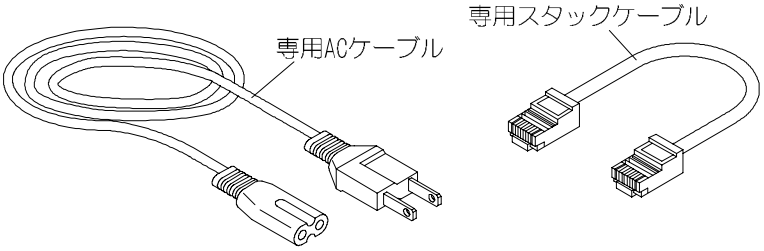


背面



側面





《前面 LEDインジケータ》

LED	色	意味
① COL(Collision)	消灯	ネットワークコリジョンが発生していないことを示します。
	橙	点滅状態はネットワークコリジョン（アダプタの故障やUTPのショートなど）の発生を示しています。頻繁に点滅する場合は、ネットワーク管理者にご相談ください。
② PWR(Power)	緑	点灯状態は、ET-ST8内部のコントローラが正常に動作していることを示します。
③ PART (Port Partition)	消灯	該当ポートが正常に動作していることを示します。
	赤	該当ポートで配線ミスやLANボードの異常により、切断していることを示します。
④ LINK (Port Link/Traffic)	消灯	該当ポートリンクはありません。
	緑	点灯･･･該当ポートはリンク済みです。 点滅･･･トラフィック状態を示しています。

《背面 RJ-45ポート、電源ソケット》

名称	意味
⑤ RJ-45 MDI-Xステーションポート (1X～8X/MDI)	カテゴリ3,4,5のUTP（またはSTP）を使用して、LANボードに接続します。（その際、⑧のスイッチを左(MDI-X)に設定する必要があります。）
⑥ RJ-45 MDIデイジーチェーンポート (8X/MDI)	カテゴリ3,4,5のUTP（またはSTP）を使用して他のハブと接続する場合、RJ-45 デイジーチェーンポートとして使用します。（その際、⑧のスイッチを右(MDI)に設定する必要があります。）
⑦ 電源ソケット	付属の専用ACケーブルと接続します。抜けないよう奥までしっかりと差し込んでください。

《側面 スイッチ》

名称	位置	意味
⑧ MDI-X/MDI	右(MDI)	他のハブと接続する(⑥を「RJ-45 MDIデイジーチェーンポート」として使用する)場合、右に設定します。(出荷時設定)
	左(MDI-X)	⑤での「8X/MDI」ポートにLANボードと接続する場合、左に設定して使用します。
⑨ TOP	右(TOP)	ET-ST8を1台のみ使用する場合に、またはスタックして使用する場合、一番上のET-ST8にのみ設定して使用します。(出荷時設定)
	左	ET-ST8をスタックして使用する場合、上から二番目以下のET-ST8はすべて左に設定して使用します。
⑩ STACK PORT		ET-ST8をスタックする場合に、付属のスタックケーブルで接続します。

2.2 ET-ST8への接続

1 ET-ST8の設置場所を決めます。
ET-ST8の最適な設置場所は、接続したい各端末の中心でネットワークの幹線や接続したい他の機器及び電源の近くです。

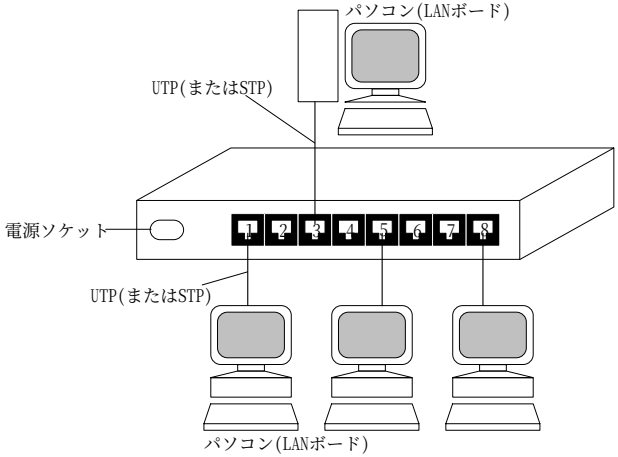
2 LANボードが正しく設定されている端末を、ET-ST8の空いているステーションポートにUTP（またはSTP）で接続します。

お使いの条件により、参照箇所が異なります。

- ET-ST8が1台のスタンドアロン環境でネットワークを使用する場合
  以下①へお進みください。
- ET-ST8をスタックしてネットワークを使用する場合
  次ページ②へお進みください。

① ET-ST8が1台のスタンドアロン環境でネットワークを使用する場合

最大8台までの端末を接続することができます。
ハブとLAN間接続された端末とのケーブル長は最大100メートルまで伸ばすことができます。（IEEE802.3規格）



注意

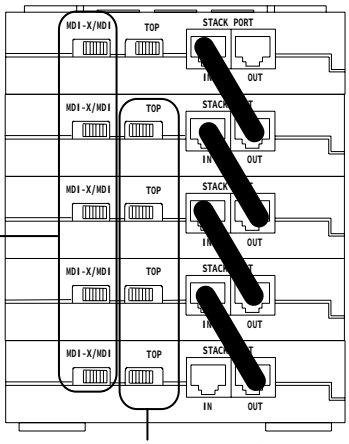
電話回線のモジュラジャックからRJ-45ステーションポートに接続しないでください。ET-ST8の故障の原因になる場合があります。必ずUTP（またはSTP）を使用してください。

② ET-ST8をスタックしてネットワークを使用する場合

ET-ST8側面のスタックポートを使用して、ET-ST8を最大5台まで接続することができます。(最大40ポートを1つのハブとして扱うことが可能です。)

※ スタックポートの「IN」「OUT」を間違えずに接続してください。

側面



使用状況に応じて
設定を変更します。
《側面 スイッチ》
(P8)参照

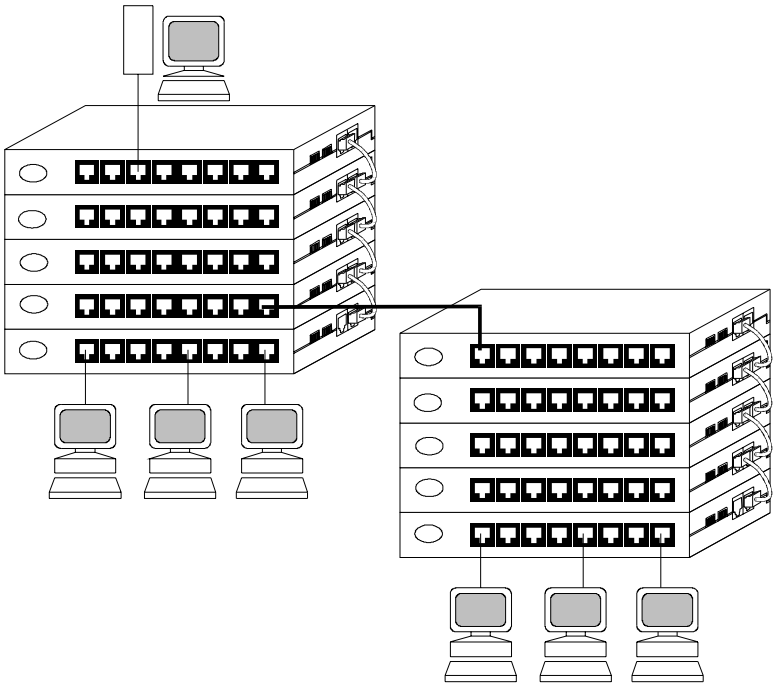
付属の専用スタック
ケーブル

スタックして使用する場合、
一番上以外を左に設定して使用します。

3 RJ-45デイジーチェーンポート(ET-ST8背面の「8X/MDI」ポート)を使用して他のハブと接続する事ができます。
UTP（またはSTP）の片方をET-ST8のRJ-45デイジーチェーンポートに接続し、もう一方を他のハブのRJ-45ステーションポートに接続します。(側面スイッチの「MDI-X/MDI」が「右(MDI)」に設定されているか確認してください。)

RJ-45デイジーチェーンポートの使用について

複数のハブでネットワークを行う場合に、デイジーチェーンポートを使用し、接続します。
（最大4階層までとなります。）



注 意

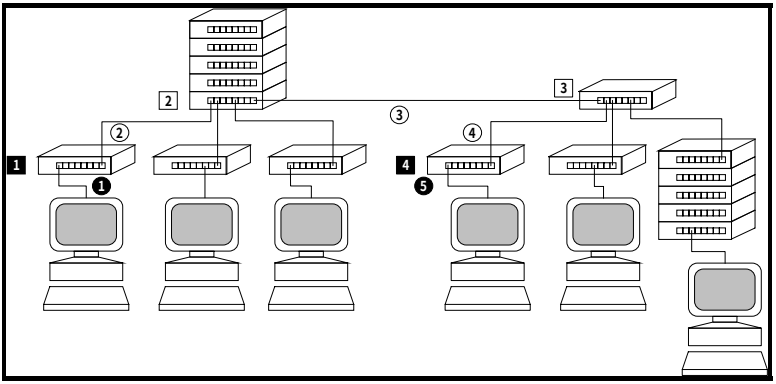
RJ-45デイジーチェーンポート同士を接続しないでください。

デイジーチェーン接続の概念図

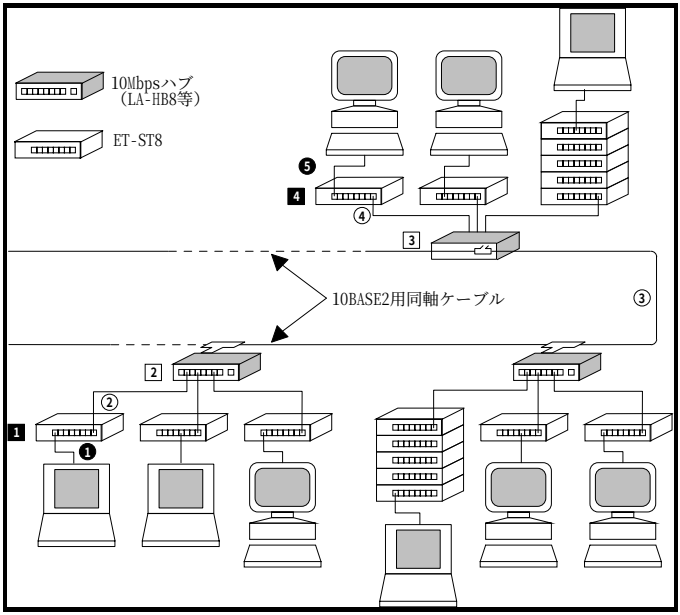
○●･･･ケーブルセグメント(最大5階層)

□■･･･ハブのカスケード数(最大4階層)

10BASE-Tのみで接続する場合

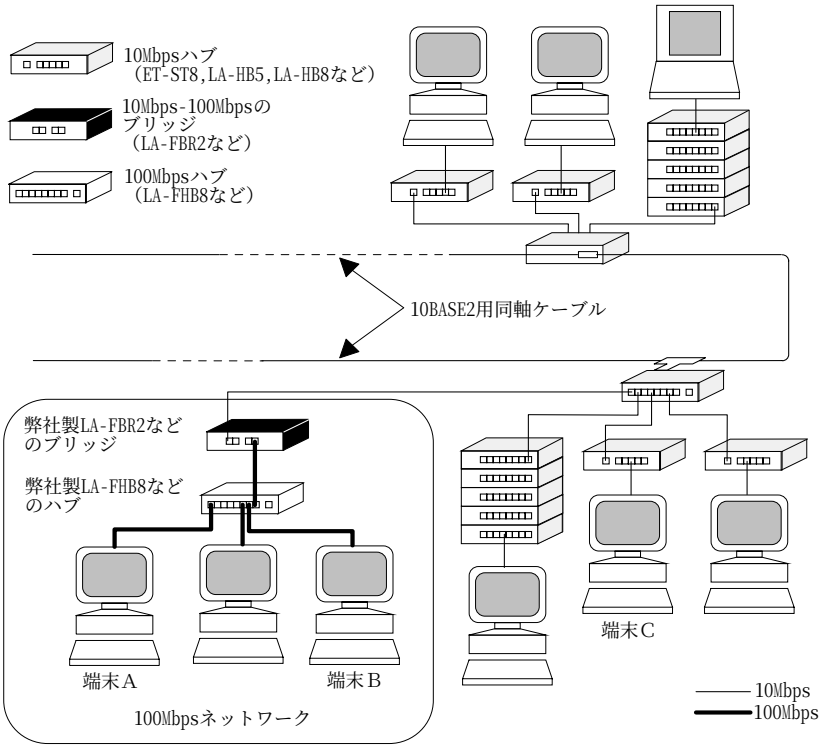


10BASE-Tと10BASE2を組み合わせた場合



【100Mbpsネットワークとの接続】

10Mbps/100Mbpsブリッジを使えば、10Mbpsネットワークと100Mbpsネットワークを相互接続することができます。たとえば、CADシステムなど大量のデータ伝送を必要とする部門は100Mbpsネットワーク、他部門は10Mbpsネットワークを敷設し、相互をブリッジ経由で接続すると効率的かつ経済的な社内ネットワークを構築することができます。図1にその接続例を示します。



【図１】

図1では、端末AとBの間は100Mbpsでの高速伝送ができ、端末AとCの間は10Mbpsの伝送を利用できます。
100Mbpsの高速伝送を行うためのハブとして、弊社では「LA-FHB8」をご用意しております。
また、10Mbpsと100Mbpsを相互接続するブリッジとして、弊社では
「LA-FBR2」をご用意しております。

注 意

1)各ワークステーション（端末のパソコン）の最大距離は、4階層のハブ（5階層のケーブルセグメント）となります。
2)ET-ST8をスタック「IN」「OUT」で接続した場合、最大40ポートを1つのハブとして扱うことができます。

4 ACケーブルをET-ST8の電源ソケットに接続します。

注 意

ET-ST8をスタックして使用する場合、スタックするET-ST8すべてに、付属の専用ACケーブルを接続してください。

5 必要に応じて付属の「専用ゴム足」を使用してください。

「専用ゴム足」の取り付け方

ET-ST8の裏側の4カ所の窪みに、汚れや水滴が付着していないことを確認の上、ゴム足のシールをはがし、ゴム足の粘着面をET-ST8の窪みにしっかりと押しつけて固定します。

付録1　困った時には

ET-ST8は、前面パネルのLED表示によってネットワーク状況の監視が可能になっています。（ネットワーク管理者がトラブルの原因を特定する手助けとなります。）
この章では、個々の共通のトラブルを解決するヒントを提供します。

ET-ST8の電源投入後、時間がたってもPWR(Power) LED（緑色）が点灯しない。

原因 ET-ST8に異常がある。

対処 弊社PLANTコールセンターにご連絡ください。

その他の確認事項

① ケーブル数やリピーター数の制限、その他の条件がIEEE802.3の規格を超えないように注意してください。(【付録2】(次ページ)も参照してください。)

② ケーブルの種類が正しいことを確認し、全てのケーブルの接続を確実に行ってください。

③ 端末に取り付けられているLANボードやケーブルの接続が正しく動作する状態であることを確認してください。

④ ネットワークのシステム全体が正しく構成されているか確認してください。また、使用しているET-ST8がネットワークに接続されているか確認してください。

⑤ RJ-45デイジーチェーンポート同士を接続しないでください。

⑥ ET-ST8側面のスイッチが、使用状況に応じて正しく設定されているか確認してください。

付録2 ネットワークの仕様及び接続方法

ここではネットワークの仕様として10BASE-Tについて記述します。

10BASE-T

ハブとUTP（またはSTP）を用い、各ワークステーションを接続します。また、LANアダプタボードとハブ間（ハブとハブ間［デイジーチェーン接続］）のUTP（またはSTP）長は最大100mです。ネットワークシステム全体で接続できるワークステーションの最大数は1024台までです。（IEEE802.3規格）

1セグメントの大きさは最大100mでネットワーク全体の大きさは最大500m（Ethernet 5セグメント4リピーター規則）となります。
ただし、ネットワーク全体の大きさはスイッチングハブと併用することにより制限はなくなります。（データがスイッチを通過するたびに新しいコリジョンドメインに入るためです。）

付録3 用語解説

AUI（エーユーアイ）

(Attachment Unit Interface)。IEEE 802.3で規格されている15ピンのインターフェイスで、サーバや他のデバイスを10BASE5 Ethernetトランシーバ またはMedia Access Unit(MAU)に接続する。

BNC（ビーエヌシー）

10BASE2用同軸ケーブルを接続するために使用されるコネクタ。半回転ひねってロックする口がある。

Broadcast（ブロードキャスト）

ネットワーク上の全ての端末にメッセージを送るプロセス。

Collision（コリジョン）

2つのパケットが同時にネットワーク上に送出され、相互干渉を起こしてデータが壊れる現象。干渉によるパケットの破壊はボードによって検出され再送信される。

CSMA/CD（シーエスエムエー / シーディ）
[Carrier sense multiple access with collision detection]

Ethernetで使用されるネットワーク形式。ネットワークのアクセス制御をノード毎に分担することが特徴。

Ethernet（イーサネット）

米国ゼロックス社、デジタル･イクイップメント社、インテル社によって開発されたネットワーク通信方式。baseband伝達、CSMA/CDアクセス、論理的なバストポロジーと、当初50Ω同軸ケーブルを使用して構成されていた。
後にIEEE 802.3として規格化され、光ファイバー、broadband、非シールドツイストペアやリピータ等、物理層と伝送媒体の追加機能が定義された。

Frame（フレーム）

データに制御情報を加えたビットのグループ。
一般にデータリンク層(OSIモデル第2層)で定義されるデータの伝送形式。

IEEE 802.3 standard （アイトリプルイー802.3スタンダード）

ローカルエリアネットワークの物理的、電気的特性の標準規格の1つ。
IEEE(Institute of Electrical and Electronics Engineers)によって規格化された。

Loopback（ループバック）

診断プログラムのテスト項目のひとつ。伝送媒体を通じてテスト機自身に信号を送り、信号受信を確認する方式。

NetWare（ネットウェア）

ノベル社のネットワークオペレーティングシステム(異なったプラットホーム間の通信･データ共有を実現するシステム)。
NetWare Core Protocol(NCP)、Internetwork Packet Exchange(IPX)、そしてSequential Packet Exchange(SPX)のプロトコルを使用する。

NIC（ニック）　Network Interface Card

LANボードの事を指す。

OSI（オーエスアイ）　[Open Systems Interconnection]

ISOによって発表され、CCITTに承認された通信規格の標準化を図るための規格。
OSIモデルは、通信に必要な処理機能を「物理」、「データリンク」、「ネットワーク」、「トランスポート」、「セッション」、「プレゼンテーション」、「アプリケーション」の7つの階層（レイヤー）に体系的にまとめられている。

RJ-45 Connector（アールジェイ45コネクタ）

ツイストペアケーブルを接続するコネクタで最も普及している形式。

TCP/IP（ティシーピー / アイピー）
[Transmission Control Protocol/Internet Protocol]

Advanced Research Projects Agency(ARPA)によって開発されたプロトコル一式。主にネットワーク層プロトコル(IP)と、トランスポートプロトコル(TCP)を含む。

Traffic（トラフィック）

ネットワークの情報量を指す。

100BASE-TX（ヒャクベース ティーエックス）

100Mbpsイーサネット接続で使用するEthernetのIEEE規格の1つで、非シールドまたはシールドのツイストペアケーブルを使用する。

10BASE2（テンベースツー）

直径約5mmの同軸ケーブル（Thin Ethernetケーブル）を使用するEthernetのIEEE仕様。

10BASE5（テンベースファイブ）

直径約12mmの同軸ケーブル（Thick Ethernetケーブル/Yellowケーブル）を使用するEthernetのIEEE仕様。

10BASE-T（テンベースティ）

非シールドのより線を使用するEthernetのIEEE仕様。

非シールドツイストペア （UTP･･･Unshielded Twist Pair）

電気妨害を減少させるため、2本1組で共にねじられている絶縁されたワイヤ構成。

シールドツイストペア （STP･･･Shielded Twist Pair）

電気干渉を減少させるため、2本の絶縁された導線をひねりあわせ、さらに金属の薄片のレイアで保護されたケーブル。

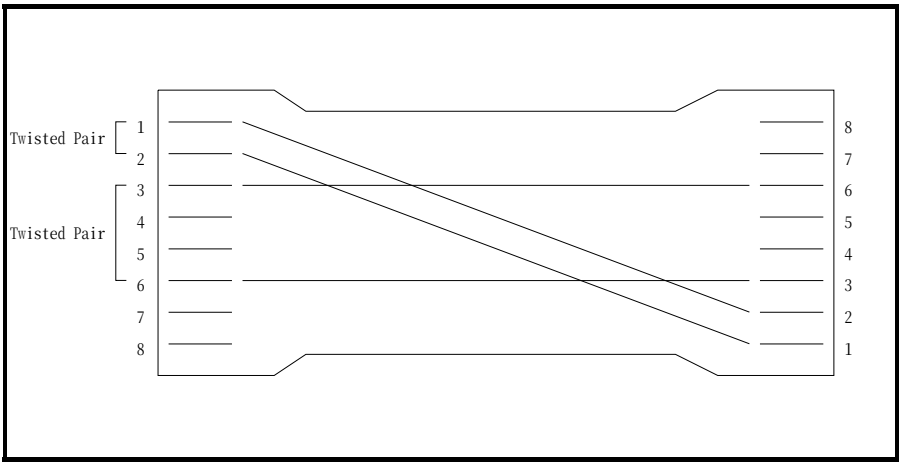
スタッカブル・ハブ

複数のハブ同士を専用バスで接続し、それら複数のハブを全体で1つの単位として機能させることが可能なハブ。複数のハブをカスケード接続する場合と異なり、スタッカブル・ハブは全体で1つのハブとして機能するので、10BASE-Tハブに適用される4リピータ規則の制限を受けないですむ。

付録4 ハードウェア仕様

8ポートハブ	ET-ST8
伝送方式	ベースバンド
アクセス速度	10Mbps
対応標準規格	IEEE802.3(10BASE-T)
サポートメディア	非シールドツイストペアケーブル(UTP) またはシールドツイストペアケーブル(STP)
ハブと端末間距離	最長100メートル (カテゴリー3,4,5 UTPまたはSTP)
搭載LED	電源、コリジョン、パーティション、リンク
最大スタック台数	5台(最大40ポート)
インターフェイス	・RJ-45ステーションポートx8(うち1ポートは、 RJ-45デイジーチェーンポートとして利用可能) ・スタックポート
使用温度範囲	0℃～40℃
使用湿度範囲	10%～90% (結露しないこと)
最大消費電力	10W
サイズ	200mm(W)x124mm(D)x36(H)mm
重量	約365g

RJ-45コネクタ (ET-ST8)



ピン番号	アサイン
Pin 1	Input Rceive Data +
Pin 2	Input Rceive Data -
Pin 3	Output Transmit Data +
Pin 6	Output Transmit Data -
Pin 4,5,7,8	未使用

PLANTコールセンターへのお問い合わせ

弊社PLANTコールセンターへのお問い合わせはユーザー登録された方に限ります。

■お知らせいただく事項

1. お客様の住所･氏名･郵便番号･連絡先の電話番号及びFAX番号。
2. ご使用の弊社製品名。
3. ご使用のパソコン本体と周辺機器の型番。
4. ご使用のOS(NOS)とアプリケーションの名称、バージョン及びメーカー名。
5. 現在の状態(どのようなときに、どうなり、今はどうなっているか。画面の状態やエラーメッセージなどの内容)。

■郵便

住所 **〒920-8512 石川県金沢市桜田町24街区1**
株式会社アイ・オー・データ機器
PLANTコールセンター「ET-ST8」係　宛

■電話

電話番号　**東京　03-5256-2010**

受付時間　**9:30～12:00　13:00～17:00**
月～金曜日（祝祭日を除く）

■オンライン（パソコン通信）

ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ	**http://www.iodata.co.jp/**
IOS-NET	**ｱｲ･ｵｰ･ﾃﾞｰﾀ機器ﾌｫｰﾗﾑのサポートセンター**
NIFTY-Serve	**ｱｲ･ｵｰ･ﾃﾞｰﾀｽﾃｰｼｮﾝ(SIODATA)サポート会議室**

IOS-NET(ｱｸｾｽﾎﾟｲﾝﾄ 東京03-5295-6570 大阪06-368-2291 金沢076-234-9811 VTX*166-77100)
最大通信速度(33600bps),通信手順(N81XN[ﾊﾟﾘﾃｨﾋﾞｯﾄなし,8bit DATA,ｽﾄｯﾌﾟﾋﾞｯﾄ1, X ON, ｼﾌﾄ制御なし]),使用文字ｺｰﾄﾞ(シフト JIS),制限時間(30分),CONNECT ID(IOS),USER ID(GUEST),ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ(なし)

*VTXのお申し込みと、VTXに対応した通信ｿﾌﾄが必要です。VTXに関するお問い合わせは最寄りのNTT(0120-443322)へどうぞ。

LAN製品に関するお問い合わせはPLANTコールセンターのみで行っています。予めご了承ください。

修理について

弊社製品の修理については、以下の事項をご確認のうえ、販売店もしくは弊社サポートセンターへご依頼ください。

- 原則として修理品は弊社への持ち込みが前提です。送付される場合は、発送時の費用はお客様負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。

- 修理品にはご使用の環境や現在の状態（『PLANTコールセンターへのお問い合わせ』の「お知らせいただく事項」）をお書き添えください。

- 保証期間中は無償で修理いたします。ただし、次の場合は有償となります。
  ◇保証書がない場合
  ◇保証書の所定事項が未記入の場合
  ◇電源ONで挿入、抜去、逆挿入など誤った操作方法による破損、故障の場合
  ◇落雷などの事故による破損の場合
  ◇本製品を改造した場合

- 保証期間後は有償で修理いたします。
  製品によっては主要部品がユニット化（一体化）されている場合があります。これらの製品で故障が主要部品におよんでいた場合、各ユニットの交換を実費で行います。

●修理品送付先

住所　〒920-8513 石川県金沢市桜田町15街区7 ｱｲ･ｵｰ･ﾃﾞｰﾀ第2ビル
株式会社アイ・オー・データ機器
「ET-ST8」　修理係　宛

※修理品を送付される場合は、輸送時の破損を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材を使用してください。また、紛失等のトラブルを避けるため、**宅配便**または**書留郵便小包**でのご送付をお願いいたします。